

サステナビリティ取り組み事例

新聞販売業界における環境に配慮した安心・安全な配送の実現に向けた協業

関連するマテリアリティ



地球環境に対する
真摯な取り組み



最適な“移動”の提供による
社会への貢献



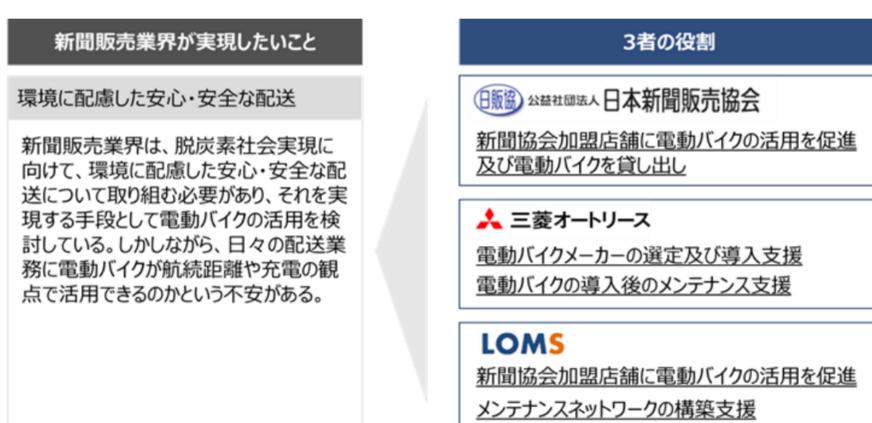
パートナーシップによる
価値共創

公益社団法人日本新聞販売協会、三菱オートリース株式会社、株式会社ラストワンマイルソリューションは、環境に配慮した安心・安全な配送の実現に向けた取り組みとして、全国の新聞販売協会加盟店舗が配送に使用するバイクに電動バイクの活用を促進すべく、日本新聞販売協会は電動バイク車両製造メーカーである株式会社ツバメ・イータイムズ製の「BIZMO II-S」を最初の導入モデルとして、全国の新聞販売協会加盟店舗を対象に、無償貸し出しを開始し、加盟店舗が電動バイクを実際の業務で使うことができるのかを確認する機会の提供を開始致しました。

■本取り組みの背景

日本新聞販売協会は、地域の皆様のために「環境に配慮した安心・安全な配送」を実現したいと考え、三菱オートリース、ラストワンマイルソリューションと協業し、本取り組みを行うこととなりました。本取り組みは、日本新聞販売協会が全国の新聞協会加盟店舗を対象に、電動バイクの無料貸し出しを行うことに対して、三菱オートリースは日本新聞販売協会に当該電動バイクのリース調達を支援すると共に、日本ロードサービス株式会社等と協業してメンテナンスサービスを提供して参ります。電動バイクの導入を推進することで、温室効果ガス排出の抑制や配送音の低減に資するものと考えています。

■3社の役割



■無償貸し出しの概要

貸し出し車両：株式会社ツバメ・イータイムズ BIZMO II-S※
無償貸し出し期間：1店舗一か月程度
貸し出し可能台数：5台（順次増車予定）

※車両イメージ



【車両スペック】
充電方法：家庭用コンセント
充電時間：7時間
航続距離：150km
速度：～55km/h

サステナビリティ取り組み事例

〈EVバンフォーラム〉を開催

～来場者は商用EVを試乗し特性を体感～

関連するマテリアリティ



地球環境に対する
真摯な取り組み



最適な“移動”の提供による
社会への貢献



パートナーシップによる
価値共創

当社は、2023年3月3日にお取引先様向けにEVバンフォーラムを東京都内で開催致しました。

EVバンフォーラムとは、商用の電気自動車（EV）について、お取引先様が自動車メーカーによる車両説明や試乗を体験いただけるイベントです。当日は、商用EVを自動車メーカーにご協力いただき6車種をご用意、ご来場者はお取引先様28社・約70名にのびりました。商用EVの走行性能や荷室の使い勝手を実際に体感いただくことで、今後商用EV導入の参考になったと好評をいただきました。

当社では商用EVの普及拡大への取り組みの一環として、このようなイベントを引き続きご提供してまいります。

■EVバンフォーラム開催概要

日程：2023年3月3日（金）
場所：ラヴィドリビングスクール蒲田（東京都大田区西六郷1丁目3-15）
内容：前半は、各メーカーから商用EVに関する車両説明
後半は、各メーカーの商用EVを実際に試乗
協力企業：【試乗・展示車】
三菱自動車工業株式会社 MINICAB-MIEV（試乗車）/ekクロスEV（展示車）
フォロフライ株式会社 EVF1VAN（試乗車）/EVF1TRUCK（展示車）
HWELECTRO 株式会社 ELEMOK（試乗車）/ELEMOK、ELEMOKL（展示車）

【ブース出展企業】

株式会社 REXEV
日東工業株式会社

■EVバンフォーラムの開催に至った背景

当社では、お取引先様より商用EV導入検討に関して、日常業務における航続可能距離や荷室の広さを踏まえた最適な車種提案依頼等、様々なご相談の声を多くいただいております。そこで、当フォーラムは、お取引先様に各メーカーの商用EVの加速性や操作性、荷室の広さ等の特性を体感いただき、具体的な活用イメージを持った上で、車種選定が出来るようになることを目的に開催致しました。

■EVバンフォーラムの写真



▲車両説明の様子



▲試乗会の様子



▲試乗の様子